

袋井市浸水ハザードマップ

説明会



浸水ハザードマップ解説動画



袋井市 都市建設部 土木防災課
危機管理部 危機管理課

浸水ハザードマップとは

- 近年、気候変動に伴い雨の降り方が激しくなっており、浸水リスクが高まっています。
- 浸水ハザードマップは、どこがどれくらい浸水するかを示す地図です。
- 袋井市では、2019（令和元）年に「洪水ハザードマップ」を公表しましたが、水防法の改正により、これまでの対象河川に加え、中小河川の洪水や内水氾濫を想定した「浸水ハザードマップ」を策定しました。

《これまで》

洪水ハザードマップ

- 〈対象河川〉
- ・洪水予報河川
（太田川、原野谷川）
 - ・水位周知河川
（敷地川、逆川、宇刈川）

【水防法改正】

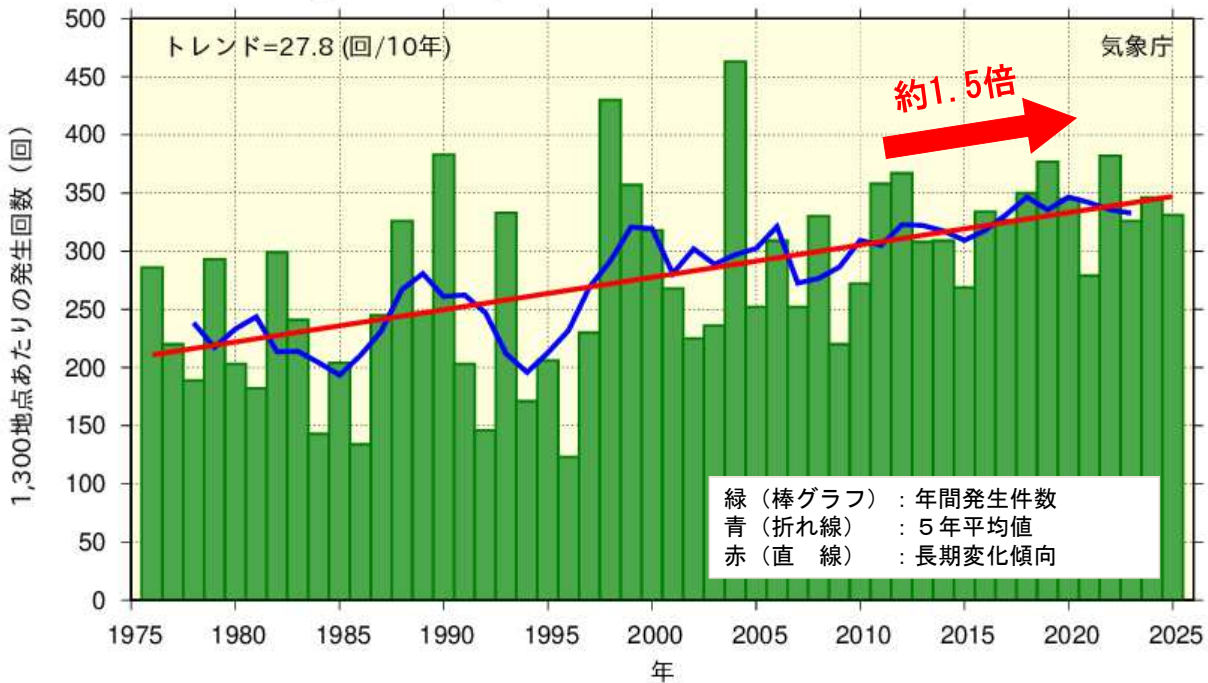
- （追加）
- ・中小河川の洪水（14河川）
 - ・太田川水系 小笠沢川・法多沢川・馬込沢川・小藪川
蟹田川・沖之川・中沢川・一宮川
 - ・弁財天川水系 弁財天川・下紙川・大須賀新川・三沢川
近江ヶ谷川
 - ・前川水系 前川
 - ・内水氾濫（袋井市全域）

《これから》

浸水ハザードマップ

洪水ハザードマップ
+
内水ハザードマップ

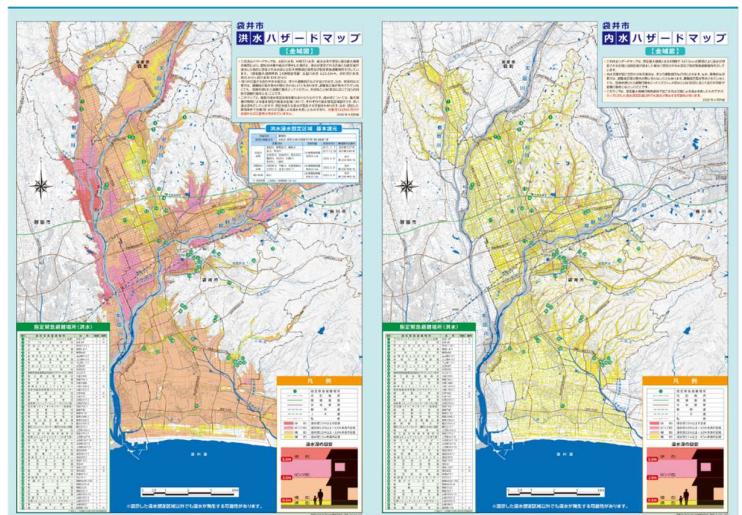
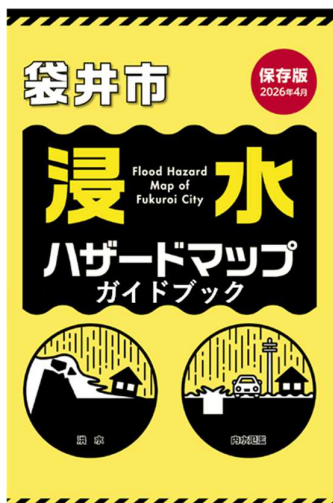
[全国アメダス] 1時間降水量50mm以上の年間発生回数 (気象庁ホームページ)



1時間降水量80mm以上、3時間降水量150mm以上、日降水量300mm以上などの強い雨は、1980年頃と比較して、おおむね2倍程度に頻度が増加しています。

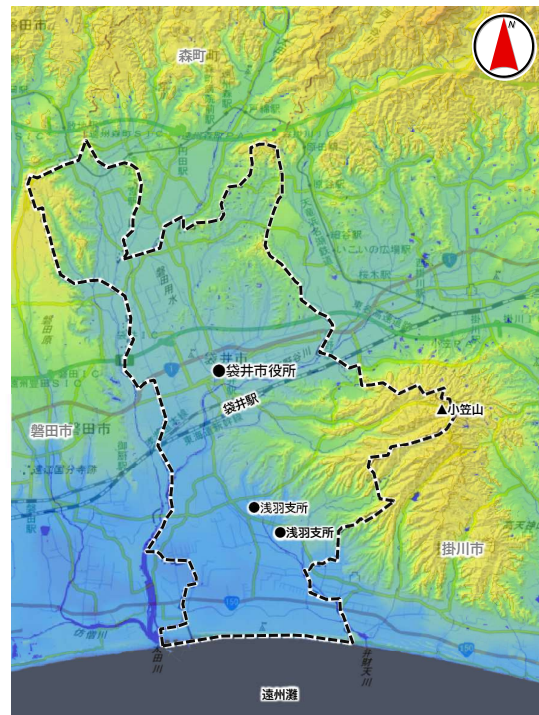
浸水ハザードマップ

- 「浸水ハザードマップ」は、災害リスクや避難の基礎知識、警戒レベルなどを事前に学ぶ「ガイドブック」と、氾濫による浸水想定区域や避難場所などを示す「地図面」(洪水・内水)で構成します。



袋井市の地形と災害特性 (ガイドブック P1～2)

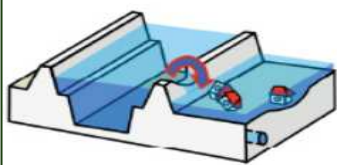
- 太田川や原野谷川に沿って発展した平坦な地形で台風や集中豪雨で浸水被害が発生しやすい地域



水害の進展イメージ (ガイドブック P3)

- 外水氾濫 (洪水) と内水氾濫

外水氾濫 (洪水)



外水氾濫[洪水]

河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤して堤防から水が溢れて浸水

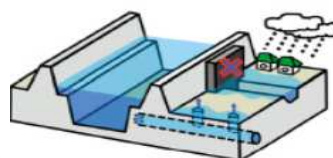
内水氾濫 (湛水(たんすい)型)

河川の水位が高くなったために、河川周辺の雨水が排水できずに浸水
堤防の高い河川周辺で発生

内水氾濫 (氾濫(はんらん)型)

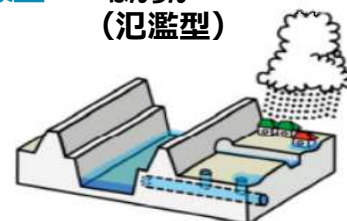
短時間強雨などにより、雨水の排水能力が追いつかず浸水
河川周辺地域とは異なる場所でも発生

たんすい (湛水型)



内水氾濫

はんらん (氾濫型)



災害に対する心得と避難時の留意点

(ガイドブック P4～7)

◆災害に対する心得

1. 水害が起きることを前提で行動する
2. 水害をイメージする
3. 命を優先し最善をつくす
4. 自分の身は自分で守る
5. 情報は自分で取りに行く
6. 想定にとらわれない

◆避難時の留意点

1. 安全な避難経路の確認
2. 正確な情報収集と早めの避難
3. 動きやすい服装と非常持出品を持って避難
4. 氾濫水に対する知識
5. 車で避難する時の注意
6. 浸水が生じている場合や避難が遅れた場合

最優先は、「命」

状況が悪化しそうなら迷わず避難

6

雨の強さと降り方 (ガイドブック P8)

雨の強さの表現	雨量の目安	雨の降り方の様子	イメージ
やや強い雨	1時間に 10～20mm	ザーザーと降る雨で、地面からの跳ね返りで足元が濡れます。	
強い雨	1時間に 20～30mm	どしゃ降りので、傘をさしていても濡れてしまいます。	
激しい雨	1時間に 30～50mm	バケツをひっくり返したように降る雨で、道路が川ようになります。	
非常に激しい雨	1時間に 50～80mm	滝のようにゴーゴーと降り続く雨で、傘は全く役に立たなくなります。	
猛烈な雨	1時間に 80mm～	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨です。	

7

警戒レベル (ガイドブック P9)

危険度	← 低				高 →
警戒レベル	1	2	3	4	5
キキクル	—	注意 (注意報級)	警戒 (警報級)	危険	災害切迫
とるべき行動	心の備えを高める	避難行動の確認	避難に時間を要する人は避難・他の住民は準備	危険な場所から全員避難	命を守る最善の行動
河川氾濫	早期注意情報	レベル2 氾濫注意報	レベル3 氾濫警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル5 氾濫特別警報
大雨	早期注意情報	レベル2 大雨注意報	レベル3 大雨警報	レベル4 大雨危険警報	レベル5 大雨特別警報
土砂災害	早期注意情報	レベル2 土砂災害注意報	レベル3 土砂災害警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル5 土砂災害特別警報
市が発令	—	—	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保 <small>※必ず発令されるものではありません</small>

レベル4で
全員避難

警戒レベル4までに必ず避難！

気象庁は、新たな防災気象情報を令和8年5月28日の13時頃から順次発表予定。このハザードマップは、変更する新しいものを記載しています。

レベル3

高齢者など避難に時間がかかる人は避難

レベル4

全員が避難

レベル5

命の危険が迫っている。命を守る行動を！

命を守る最大限の行動を

急激な雷雨で外に出るのが既に危険な状況の場合は、今いる場所やその付近での安全の確保を第一に考えましょう。危険が切迫している場合は、指定された避難所への移動だけでなく、屋外への避難が危険だと判断したら自宅や近隣の頑丈な建物の2階へ垂直避難し、救助を待つことも検討してください。

少しでも安全な場所へ



8

気象情報・避難情報の入手方法

(ガイドブック P10～13)

- 最新情報を自ら取得することが大切です。
- 災害時には、様々な要因で情報があなたの手元に届きにくくなる場合があります。
- 情報をただ待つだけでなく、災害が発生しそうなときは、自ら情報を収集して周りの状況に注意しましょう。

◆ 自動配信されるもの

PUSH (プッシュ) 型

- ・静岡県総合防災アプリ
- ・メローねっと

◆ 自身で収集するもの

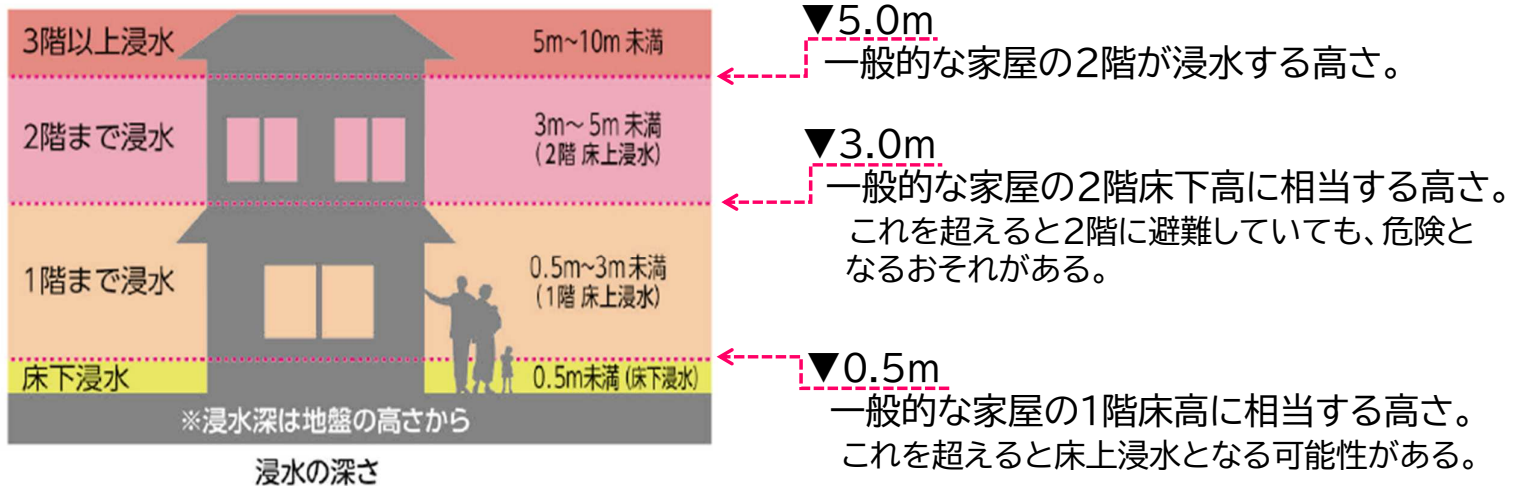
PULL (プル) 型

- ・気象庁ホームページ
- ・袋井市ホームページ
- ・静岡県サイポスレーダー (河川水位など)

ハザードマップの見方 (ガイドブック P16~17)

① 最大浸水深のランク区分について

浸水深のランク区分は以下の意味をもっています。



10

ハザードマップの見方 (ガイドブック P16~17)

② 家屋倒壊等のおそれのある区域について

堤防決壊等による氾濫流が家屋を押し流したり、河道内の洪水流により河岸が侵食されることによって、家屋が倒壊するおそれのある区域を示しています。

氾濫流による家屋倒壊の範囲は、シミュレーションによって得られた最大の水深や流速に対して標準的な木造2階建て家屋の構造、重量などを対象として試算したものです。

河岸侵食による家屋倒壊の範囲は、過去に全国で発生した河岸侵食幅の実績を基に推算したものです。

●堤防決壊に伴う激しい水流により木造家屋が倒壊したり、川の激しい流れにより堤防や地盤が削られると想定される区域

マップ上の表示



〈氾濫流〉



〈河岸侵食〉



11

ハザードマップの見方 (ガイドブック P16~17)

③ 浸水継続時間について

浸水が長期にわたると想定される地域で立退き避難しない場合、以下のような問題が生じる可能性があるため注意が必要です。

- ・浸水深が深い場合、家から外へ出られない。
- ・備蓄していても水や食料等がなくなる。
- ・衛生環境が悪化する。
- ・病人が出た場合に対応が難しい。
- ・定期的な診療を受けている人は、診療を受けられない。
- ・電気が止まることにより、情報を得ることができなくなる。
- ・電気、ガス、水道が止まることにより生活環境が悪化する。

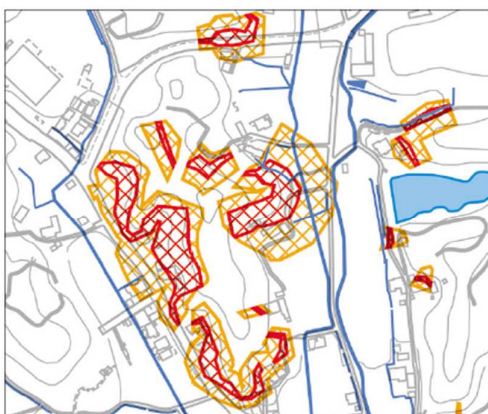


ハザードマップの見方 (ガイドブック P16~17)

④ 土砂災害警戒区域等について


土砂災害を特に警戒すべき区域は、県が土砂災害警戒区域・特別警戒区域として指定しています。

土砂災害の警戒区域・特別警戒区域は、「土石流」「がけ崩れ」「地すべり」がありますが、マップには上記の種別はなく、区域のみを示しています。なお、袋井市内には、「地すべり」による指定区域はありません。




土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

マップ上の表示 

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

マップ上の表示 

洪水ハザードマップの作成方法 (ガイドブック P18～19)

● 対象降雨

国が流域面積に応じて定めた想定最大降雨 (24時間降雨)

太田川水系：629.5mm 弁財天川水系：800.0mm 前川水系：836.0mm

※想定最大降雨 = 1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1000年に1度程度

● 洪水浸水想定区域図

地形情報などをコンピューターの中に再現し、対象降雨による破堤地点を河川ごとに複数想定し、最大浸水深さを重ね合わせて作成します。

● 洪水ハザードマップ

浸水想定区域図に指定緊急避難場所などの避難情報を掲載したものです。

14

洪水 浸水継続時間図 (ガイドブック P20～25)

- 想定最大降雨による氾濫水が到達した後、屋外への避難が困難となる浸水深50cm以上が継続する時間を示したものです。
- 浸水継続時間が長い区域では、立退き避難を行わなかった場合、長時間の浸水により生活に支障が出るおそれがあります。浸水継続時間が長いおそれのある区域にお住まいの方は、事前に避難するようにしましょう。

15

内水ハザードマップの作成方法 (ガイドブック P26～27)

● 対象降雨

国が定めた地域ごとに設定された1時間あたりの想定最大降雨

袋井市全域：147.0mm

※想定最大降雨 = 1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1000年に1度程度

● 内水浸水想定区域図

地形情報などをコンピューターの中に再現し、対象降雨を降らせた場合、どのように浸水するのかを総合的に解析したものです。

● 内水ハザードマップ

浸水想定区域図に指定緊急避難場所などの避難情報を掲載したものです。

16

内水 浸水継続時間図 (ガイドブック P28～33)

- 想定最大降雨による氾濫水が到達した後、屋外への避難が困難となる浸水深50cm以上が継続する時間を示したものです。
- 浸水継続時間が長い区域では、立退き避難を行わなかった場合、長時間の浸水により生活に支障が出るおそれがあります。浸水継続時間が長いおそれのある区域にお住まいの方は、事前に避難するようにしましょう。

17

浸水ハザードマップの注意点

- ハザードマップは、現時点の観測データや地形データなどをモデル化し、想定した降雨条件での浸水深を予測したものです。
- 「絶対的な安全基準」ではなく「目安」です。
- 色がついている区域は浸水や土砂災害の想定区域ですが、着色されていない区域でも災害が起こる可能性があります。
- 想定外の事態に備え、常に周辺の最新情報を確認し、自分や家族の命を守る行動を心がけましょう。

18

自宅の災害リスク (ガイドブック & 地図)

- 「自宅の災害リスク」と「とるべき行動」の確認
 - ①ハザードマップで自分の家はどこにあるか確認しましょう
 - ②家がある場所に色が塗られていますか？
 - ③とるべき行動を確認しましょう
 - ・避難のタイミングを考えましょう
 - ・避難する場所（親戚宅、知人宅、避難所など）を考えましょう
 - ・避難方法、避難ルートを考えましょう

19

とるべき行動の注意点

避難の方法はいくつかあります。各家庭にとって一番良い方法を選択しましょう。

- 「自宅に残る」という手段は、緊急時には有効になりますが、浸水が長時間継続する地域では、食料不足や生活が困難な状態になる場合があります。
- 「指定避難所へ移動」という手段は、全員が避難所に入れるとは限りません。また、プライバシーの確保も制限されます。
- 「高台へ移動」という手段は、さらに救助が必要となる場合もあります。
- 「浸水しない地域へ移動(親戚・知人・宿泊施設など)」という手段は、浸水が長時間継続する地域では有効となります。

わが家の「マイ・タイムライン」に記入しましょう。
(ガイドブックP36,37) (※記入例 P22)

20

最後に・・・「防災の3K」

- K 気付く
気候変動により、水害が頻発化・激甚化しており、
どこでも水害が起こり得ることに気づく
- K 考える
浸水ハザードマップをみて避難行動を考える
非常持出品や備蓄品を考える
- K 行動する
非常持出品や備蓄品を揃える
地域防災訓練に参加する

逃げ遅れゼロ、そして命を守る
⇒ 自ら考えて行動することが大事

21

水害が発生したときに焦らないように、水害時の個人の防災行動計画(スケジュール表)であるマイ・タイムラインを

事前に作っておくと、いざというときの避難に役立ちます。いつ、だれが、何をするのかを計画してまとめておきましょう。

台風が来てからではなく、
事前に対策を考えよう!

いつ		だれが		何をするのか		とるべき行動(例)	
周囲の状況(例)		市の情報		名前 早目 準	名前 ひな	名前 優	名前
大雨前の備え 避難前に確認すること 避難時に注意すること	数日後に猛烈な台風が接近する可能性があります。まだ周りは晴れています。 	市が発令する避難情報↓ 高齢者等避難 避難指示 緊急安全確保	警戒レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> 天気予報をチェック 浸水ハザードマップの確認 避難場所・経路(複数)を確認 避難のタイミングを確認 	<ul style="list-style-type: none"> 避難計画を共有 携帯電話の充電 非常持出品の確認 家周りの片付け 	<ul style="list-style-type: none"> 避難計画を共有 自分だけの非常持出品の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 心の備えを高める <ul style="list-style-type: none"> 備蓄食料の確認、買い出し 台風の進路と危険な時間帯を確認 家族の行動予定を確認 強風への対策 携帯電話の充電、車にガソリンを入れに行く 避難情報の入手方法を確認 袋井市浸水ハザードマップで自宅の災害リスクを確認 土のう・止水板を準備
	猛烈な台風が東海地方を直撃する予報がでています。気象庁が 注意報 を発表しています。 		警戒レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> 天気予報をチェック 車を高台に移動 親戚宅への避難を依頼 身支度(シャワー・着替え) 	<ul style="list-style-type: none"> テレビをつける 非常持出品の準備 ご近所さんと情報交換 身支度 	<ul style="list-style-type: none"> 大事なものを2階へ 自分だけの非常持出品の準備 身支度 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動の確認 <ul style="list-style-type: none"> 自主避難の検討 避難方法を確認 非常持出品を準備 大切なものを高い所へ移動 
	雨と風がかなり強くなりました。排水しきれない雨水が道路に溜まっています。気象庁が 警報 を発表しています。市が 高齢者等避難(警戒レベル3) を発令しました。 		警戒レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> 避難所開設状況の確認 ご近所さんに声かけ ※レベル3でも家の前の側溝が溢れたら避難(ブレーカー切る) 	<ul style="list-style-type: none"> 河川水位の確認 断水・停電に備える 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等は避難、他の住民は準備 <ul style="list-style-type: none"> 開設されている避難所を確認(静岡県防災アプリ、袋井市公式ホームページなど) 近隣の要配慮者への声掛け 	
	市が避難指示(警戒レベル4)を発令しました。今後、気象庁が 特別警報 を発表する可能性が高まります。 警戒レベル4までに必ず避難!		警戒レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> ご近所さんに声かけ 避難(ブレーカー切る) ※危険が少ないルートで避難(必要に応じて避難先の変更) 	<ul style="list-style-type: none"> 火の元確認 戸締り確認 	<ul style="list-style-type: none"> 全員避難 <ul style="list-style-type: none"> 避難所へ行く時 <ul style="list-style-type: none"> 近隣の要配慮者への声掛け 避難所へ避難 自宅避難する時 <ul style="list-style-type: none"> 安全な部屋へ移動 	
	災害発生! 外は身の危険を感じるほどの風が吹き荒れています。これからの自宅外への避難はかえって危険です。		警戒レベル 5	<ul style="list-style-type: none"> 逃げ遅れたら2階へ避難 外には出ない 	<ul style="list-style-type: none"> 逃げ遅れたら2階へ避難 外には出ない 	<ul style="list-style-type: none"> 逃げ遅れたら2階へ避難 外には出ない 	<ul style="list-style-type: none"> 命を守る最善の行動 <ul style="list-style-type: none"> 自宅避難する時 <ul style="list-style-type: none"> 安全な部屋へ移動